

例会日:毎週木曜日 18時30分 例会場:関観光ホテル 住所:岐阜県関市池尻 91-2
事務局:岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278
会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、奉仕から広がる友情の輪、
そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

第 2133 回
2024 年 3 月 7 日 (木)

本日のプログラム

卓 話 NPO 法人 子援隊 佐藤 隆一 様
テーマ 「活動報告」

担 当：社会奉仕委員会

前例会の記録

第 2132 回 2024 年2月 29日(木)

卓 話 岐阜県議会議員 佐藤 武彦 様

テーマ 「令和6年度岐阜県予算について」

担 当：出席委員会

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*会長あいさつ 森 敬 会長

皆様こんばんは。お客様の紹介を致します。岐阜県議会議員 佐藤 武彦 様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。テーマ「令和6年度岐阜県予算について」卓話をして頂きます。さて、岐阜県予算について岐阜県の事を話せたら良いのですが、私は関市で生まれ関で育ち関しか知りませんので、岐阜県については話せませんが、美濃市の事は少し分かります。家内の実家が美濃市の千畝町でして、お盆やお正月に訪ねるのですが決まってお昼か夕飯に柳屋さん(美濃市広岡町)のどんちゃんが出てきます。既に亡くなってお



りますが、家内の父は横越(美濃市)の服部で実家は廃業しましたが馬屋をやっており乳牛を飼っておりました。遊びに行くといつも牛乳を飲ませてくれました。家内の母は上野(美濃市)の太田です。実家は紙すきをしておりました。伯父は紙すきや和紙の話になると大変うるさい人でした。そして、家内のいとこは佐藤先生の後輩になります。この様な事で、美濃市の事は少し分かります。関市について話したいと思います。2月16日(金)に関市民花火大会実行委員会があり令和5年度大会の収支決算報告がありました。決算額は17,274,308円です。開会1時間前まで準備をしていましたので、花火打ち上げはしておりませんが予算はほぼ使ってしまいました。関市補助金9,000,000円の内198,226円を返金しました。令和6年度関市民花火大会日程は8月13日(火)予備日8月17日(土)両日開催できない場合は中止となります。令和6年度関市民花火大会予算案や令和6年度煙火事業者の選定方法などについても話し合いをしました。その他のところで、協賛事業者への声掛けについて話し合いました。昨年まで岐阜新聞社に

お任せしていた大手刃物会社など協賛していない事業者もあり偏っているとの事で、実行委員会としても声掛けをしていくと良いのではないかとになりました。関中央RCとしては、クラブはもちろんですが会員もたくさん協賛して頂いております。おかげで毎年、素晴らしい花火が打ち上げられます。本当にありがとうございます。令和6年度も協賛して頂きますよう宜しくお願い致します。そして、2月27日(火)に関市まちづくり協議会役員会があり出席しましたので報告します。各団体から代表者が参加されました。スポーツ協会、関RC、関中央RC、ライオンズクラブ、青年会議所、商工会議所青年部、国際交流協会、小中学校長会、地域女性の会、新しく加入した防災の会、NPO法人ふうめらん、セキ日和です。議題、令和5年度の事業経過報告で気になった事業は「焚き火を囲んで議員と語らう会」です。焚き火を囲んで議員と25歳以下の若者が話し合いをしたそうです。今回は年齢制限をなくし、会場を関観光ホテル・河原カフェ会費5,000円 ビュッフェ形式とするようです。我々も参加資格がございます。勉強会がありました。「関市の財政について」関市財政課から来て頂き出前講座をしてもらいました。内容については長くなるので割愛させていただきますが、関市の財政は赤字ではなく大変健全であることが良く分かりました。質疑応答では面白い意見もありました。健全な財政は良いがもっと投資して、例えば世界一の刀剣美術館を造ったらどうか?とか、刃物のまち関なのに刃物産業補助が少ない。海外の見本市に出展しても20万円くらいの補助しかないそうです。そしてこれは私も同感であります。参加者の一人が話され子供が4人いて、まだ上の子が小学3年生でお金がかかり子育て支援が欲しいとのこと。私も子供が4人いて、もう大変な時期は過ぎてしまいましたが育つまでは生活費や教育費が大変かかります。その子供たちも今は社会人となり納税をしております。子供に投資しても必ず成長し大人になれば納税をしてくれるので、もっと子育てに対して手厚くしてもらいたいと思います。本日は、岐阜県予算について卓話して頂きますので楽しみにしております。

*卓話 岐阜県議会議員 佐藤 武彦 様

テーマ 「令和6年度岐阜県予算について」

担当：出席委員会

令和6年度当初予算案の概要

「清流の国ぎふ」づくり

～ 確かな未来の創造 ～



1 基本方針

能登半島で発生した地震の大きな揺れで始まった令和6年は、本県にとっては3年ぶりとなる鳥インフルエンザ発生とも相俟って、行政の最大の責務が「県民の生命と生活を守る事」であると再認識する年明けとなった。特に、今回の地震により交通インフラやライフラインが酷く損なわれた状況に鑑み、「救援物資輸送ロジスティクス」の見直しが急務であること、そして災害に強いインフラの構築を含めた県土の強靱化への絶えざる努力が不可欠であることが改めて認識された。過去3年余に亘る新型コロナウイルスとの厳しい闘いにおいて、多くの県民の方々のご協力をいただきながら、私たち県職員はこの責務を果たすべく努力してきたところだが、予期せぬ自然災害の発生に限らず、岐阜県を取り巻く環境は厳しさを増してきている。先ず、世界に目を向ければ、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの紛争といった国際情勢の緊張と不安定は、世界的な燃料・食糧危機や物流の停滞を引き起こしている。本県においても、燃料費や食糧費の高騰を招き、県民生活や中小零細企業の経営に大きな影を落としている。また、SDGsの推進、地球温暖化防止に向けたGXや新エネルギーの活用などのグローバルアジェンダ(すべての人々が取り組むべき課題)については、本県としても真剣に取り組む必要がある。次に、国内では、人口減少・少子高齢化のトレンドが一段と加速している。本県は全国に先駆けてこの問題に取り組んできたところであるが、依然として深刻な状況にある。また、ヤングケアラーや老々介護といった様々な生活上の困難に直面しているの方々への支援にも取り組まねばならない。以上のように、県政を取り巻く内外の環境・課題を踏まえた上で策定した令和6年度当初予算案は、県政を推進するための3つの政策群で構成されている。1つ目が、「持続可能な『清流の国ぎふ』を目指して」である。これは、地震を始めとする自然災害への備え、人や産業への未来投資、GX・DXなどにより、「清流の国ぎふ」の礎を強固なものとするための政策群である。2つ目が、「暮らしやすい『清流の国

ぎふ』の実現」である。経済対策、暮らしの安全安心の確保、少子化対策の推進などにより、県民の健康や豊かさを実現し、子どもを産み育てやすい地域社会を築いていくための政策群である。3つ目が、「『清流の国ぎふ』の魅力向上と発信」である。文化イヤーを契機とする「清流文化」の創造・発信、インバウンドの推進、国際交流の深化などにより、魅力向上と発信のギアを上げる政策群である。併せて、持続可能な財政運営にも十分意を用いていかなければならない。本県財政は、近年、頻発化する自然災害に対応するための防災・減災対策、行政施設や公共施設の老朽化対策といった課題により、県債残高が高水準で推移している。これに伴って、公債費及び実質公債費比率は増加に転じている。また、高齢化の進展などにより増加が見込まれる社会保障関係経費などにも適切に対応していく必要がある。これに加え、新年度当初予算では、能登半島地震での被災状況などを踏まえ、県土を一層強靱なものとするため、ハード・ソフトの両面において、所要の予算を増額する必要がある。こうした財政需要の増加に対し、予算全般にわたり、国庫補助金などの外部資金をできる限り活用することとしているが、基金の取崩しも避けられない状況にある。以上を踏まえて、新年度予算全体としては、政策課題について重点的な配分を行いつつも、事業見直しの徹底などの効率化を合わせて進めることで、メリハリのある編成に努めたところであり、予算総額は12年ぶりに若干のマイナスとなった。

2 予算案の体系

1 持続可能な「清流の国ぎふ」を目指して

(1) 県土と危機管理体制の更なる強靱化

- ① 災害対応力の強化
- ② 災害に強いインフラの整備
- ③ 災害避難者及び被災地への支援

(2) 人への投資

- ① 未来を担う子どもや若者への投資
- ② 地域や産業を支える担い手への投資
- ③ 多様な人材の活躍推進

(3) 産業への未来投資

- ① 商工業・サービス産業への投資
- ② 農林畜水産業への投資

(4) GX・DXの推進

① GXの推進

② DXの推進

2 暮らしやすい「清流の国ぎふ」の実現

(1) 困難な状況からの脱却に向けた経済対策

- ① 物価高騰を乗り越えるための支援
- ② 厳しい状況に直面する農畜水産業への支援

(2) 暮らしの安全安心確保

- ① 医療・福祉の充実と暮らしの安全確保
- ② 誰もが安心して暮らせる社会の実現

(3) 少子化対策の推進

- ① 子どもを産み育てやすい地域づくり
- ② 若者向けの移住定住対策の強化

3 「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信

(1) 清流文化の創造・発信

(2) 観光・交流の推進

① インバウンド、国内誘客の推進

② 国際交流の深化

(3) 地域の新たな魅力創出

* 出席委員会

会員数 28 名、本日の出席16名です。

* ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

本日は岐阜県議会議員 佐藤 武彦 様、卓話よろしく
お願いします。

・古田 育則 会員

佐藤先生、本日は大変ご無理をお願い致しました。どうぞよろしく
お願い致します。

16名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2134回 2024年3月14日(木) 午前10時～

職場例会 協和コンクリート工業 株式会社

(コンクリート二次製品工場の見学)

担 当: 職業奉仕委員会

